

インタビューの記録から

*「保護者は我が子の学校での様子や他の子どもや先生方とのかかわりが分からないと、不安を感じたり不信が募っていきことがあります。不安が積み積もっていきと取り返しがつかなくなってしまうことがあります。そのために、できるだけ子どもの様子や学校の取組できれば保護者の意見を伝え合う必要があるので感じています。」

*「学年通信では『見たこと聞いたこと、ちょっと嬉しい話』というコーナーを設け、生徒の良い言動を伝えるようにしています。」

* 学年通信を媒体にし、生徒・職員・家庭が同じ情報を共有しながら子どもの成長を願い、同じ方向で考えていけるようにしています。」

学年主任として生徒や保護者や職員との意思疎通を深めたい

そこで

学年通信で学校・家庭・生徒間での情報の交流を充実させましょう

たとえば

学年通信の主な内容

- ・ 学校での学習や生活などの児童生徒の様子
- ・ 職場体験学習や修学旅行の児童生徒の感想
- ・ 家庭にお願いしたいこと
- ・ 学校、学年としての指導や支援の方針
- ・ 行事や学習のねらいや身に付けて欲しい力
- ・ 保護者アンケートの結果や感想
- ・ 発達段階の上で必要、大切な生活習慣確立のための情報提供
- ・ 子どもを取り巻く地域や社会の動向

月に3回程度発行しています

児童生徒に対して

- ・ 次に取り組む学習のねらいや準備を伝える。
- ・ 充実した生活の様子や活動内容を伝える。
- ・ 児童生徒に考えてほしい内容を伝える。

保護者に対して

- ・ 行事や学習、生活での取組について意味や意義を伝える。
- ・ 保護者の協力や理解を求める。

職員に対して

- ・ 共通理解がとれるように指導のねらいや手立てを確認する。

